

ウィズ通信

摂津市立男女共同参画センター

男女共同参画セミナー／女性大学入学記念講演を開催しました！

樋口恵子さん講演会

「人生100年時代の新しい生き方、働き方」

日本は、総人口に占める65歳以上の高齢者割合（高齢化率）が23.1%となり、どの国も経験したことのない「本格的な高齢社会」を迎えています。人生100年時代を迎えた今、ワーク（仕事）とライフ（家庭や地域生活）とケア（介護）のバランス社会をどう構築するかが問われています。「豊かな人生を生きるためには、過去の常識や枠組みにとらわれず、性別によって役割を固定することなく、各個人の能力にあわせた“出番と居場所”のある地域社会づくりが必要です。新たな人生の設計図をみんなで描きましょう」と語る樋口さんの言葉が心に響く講演でした。



7月2日開催の樋口恵子さん（NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長、東京家政大学名誉教授）講演会には、近隣市町を含め144名の方が参加しました。



摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための目的施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



摂津市立男女共同参画センター情報誌「ウィズ通信」は2001年から発行してきた「ウィズ・レポート」をリニューアルし、年に2回、2月と8月に発行します。

受講生の感想から

- ・同世代の女性として生きた自分の履歴と重なる部分や経験がよみがえり、人生100年の自分設計を、誇りを持って立て直し、社会参加という仕事に就きたいと思いました。
- ・女性の働き方と生き方が時代とともに変化してきたというお話を聞き、自分と娘のこれからについて考える機会を得ました。
- ・70代の男性です。女性であるがゆえに大変な苦勞をされた方がたくさんいることがわかりました。今日からまず私の家庭から、女性のあり方を一考していきます。
- ・人生の先輩としての女性の歩みを伺いながら、今の時代も女性として生きることの息苦しさを感ずりますが、自分の生き方を自分で選ぶためのチャンスはふえてきたようで、先駆者たちの努力の賜物だと考えます。今を生きる一人ひとりがしっかり地に足をつけて、人間として男女を問わず自分らしく生きることのできる世の中の実現に向けて、次の世代へ残すよう心がけていきたいと思いました。
- ・子育て中の専業主婦ですが、2～3年後から働こうと考えています。両立は大変だと思いますが、自分のためにも社会に必要なとされたいと思います。女性がいつまでもイキイキと働ける環境の整備や、子育てとの両立支援を、男女共同参画の視点で進めていくことが大切だと思います。

若い世代に伝えたいこと

7月8日・15日、大阪薫英女子短期大学のご協力の中、「人間と職業」の講義を男女共同参画センターで担当させていただきました。「今の日本社会で女性として生きること」「働くこと」「自分を大事にすることとは」などを、これから社会へ出る学生の皆さんに伝える機会となりました。

1日目

「私」が社会の中で働くということは、どういうことなのか。自分の人生を長いスパンで捉え、どんな働き方を選ぶか、を考えるきっかけとする講座です。まずお金の話からスタートしました。初めての一人暮らし、1ヵ月の生活費はいくらかかるかシートを使って考えます。新卒の初任給の資料を見せ、手取り額がさらに少ないこと、自分の計算した生活費とのギャップを感じ、アルバイトの方が稼げると一瞬思う学生もいたと思います。次に、正規・非正規雇用のメリット・デメリットをグループ・ディスカッションし発表。15歳～24歳の女性の51.3%が非正規雇用（2010年「就業構造基本調査」総務省）という現実や賃金格差、働き方によって将来の年金等に差ができることなどを説明し、女性が働き続けることについて考えてもらいました。

就職戦線、超氷河期の中、正規雇用で雇われる人は少なく、学生は落ち込むばかりです。履歴書に必要な自己紹介の練習も兼ね、私の長所・短所を書き、自分の強みを改めて考えてもらいました。更に、私のいい所を隣の人に書いてもらい、お互いに伝えあい、自分では気づかない「他者から見た自分」を知る機会としました。今回の学生さんは、ほとんどが保育者希望なので、最後に保育者として働くために必要な力をグループで考えてもらい、発表。企業が求める即戦力のスキルではなく、トータルな人間力を意識し、今できることを積み重ね、力をつけてもらえればと思います。



自己紹介の練習も兼ね、私の長所・短所を書き、自分の強みを改めて考えてもらいました。更に、私のいい所を隣の人に書いてもらい、お互いに伝えあい、自分では気づかない「他者から見た自分」を知る機会としました。今回の学生さんは、ほとんどが保育者希望なので、最後に保育者として働くために必要な力をグループで考えてもらい、発表。企業が求める即戦力のスキルではなく、トータルな人間力を意識し、今できることを積み重ね、力をつけてもらえればと思います。

2日目

平成21年度の内閣府の調査では、結婚経験（事実婚を含む）のある女性のおよそ33.2%の女性が、配偶者から何らかの暴力を受けたことがあり、また、13.6%の女性が10～20代のときに交際相手から何らかの暴力を受けたことがあると答えています。驚くほど多くの女性がDV被害に遭っています。

DVとは身体的な暴力だけではありません。説明を聞いて、こんなこともDVにあたるのかと驚いたという学生も少なくありませんでした。実態を知ると、DVが他人事ではなく、自分も被害者になるかもしれないこと、身近に被害者がいるかもしれないことが分かってきます。また、親のDVを見て育つことは、子どもの心身にも大きな影響を及ぼします。DVのある家庭では、子どもへの虐待の発生率も高いという統計もあります。

自分自身を大切にすることは、他者を尊重することにもつながり、人権意識の基礎ともいえるべきものです。将来、保育者など子どもに関わる仕事につく学生たちには、虐待やDVに対する問題意識を身につけ、感性を磨いてほしいと思います。今回の授業が、そのきっかけになれば幸いです。



受講生の感想から

1日目

- ・一人暮らしには、意外と、お金がかかることがわかった。
- ・これから自分が経験をしていくことなので、とても役に立った。
- ・自分の考えの甘さを実感させられる講義だった。
- ・自分の良いところに気づけてよかった。
- ・正規雇用と非正規雇用のメリット、デメリットを改めて知ることができた。
- ・男女間で給料差があることは、差別だと思った。

2日目

- ・多くの人が、DV被害にあっていることを知った。
- ・DVだと思ってなかったことがDVだと知ってびっくりした。
- ・自分の身は、自分で守らないといけないと思った。

- ・女が下に見られることが多いが、女にも権利があると知り、安心した。
- ・実際に友達がDVにあっているの、学んだことを教えてあげたいと思った。
- ・グループワークで、他の人の意見が聞けてよかった。

2回の授業を通じて

- ・どちらの講義も、人生にとっても大切なことであり、すべて良かった。
- ・男女の差別がなくなるような社会になってほしい。
- ・2回とも女性に関わる重要なことで、給料の違いや、DVなど、女性は損なことが多いと思った。両方とも、大きな問題だし、今後の社会の課題でもあると思う。

本学児童教育学科は、平成19年度から摂津市や地元の「遊び」や「子育て支援」「児童虐待」等の催しにボランティアとして参加の機会を頂き、学内での講義では学びきれない貴重な実体験を積み重ねることができてきています。また、昨年度は「男女共同参画センター」主催のデートDVのワークショップに、本学科のわずか10名前後の学生ですが、初めて参加させて頂き、貴重な時間となりました。そこでスタッフの方々の豊富な知識や経験を、教員の立場から目の当たりにし、このような地域の知的財産を活用させて頂き、学生へのこれからの学びのきっかけづくり、地域との連携のスタートとしていきたいと願い、「人間と職業」の2回の講義をご依頼し、快諾を得ることができました。

対象は1年次生で、まだ入学して間のない学生でしたが、第1回目は7月8日（金）コミュニティプラザで主に女性の就労について、第2回目は本学でデートDVについて講義とワークショップを開催しました。保育者を目指して入学してきた学生に教員とは異なる立場から、女性の就労、女性の人権、デートDVと学生の身近な問題を提起頂き、学生自身の内面を揺さぶることのできた深い学びの機会となりました。

はじめての試みで、本学科としての準備不足、学生指導に対する至らなかった点等、課題は多々ありましたが、スタッフの方々が学生のために多くの時間を費やして準備下さり、常に笑顔で熱意と情熱をもって、講義下さった内容は、学生のこころの奥深く届いているようです。

「つながること、広げること、深めること」を核として、これからも地域の多くの方々とのお交わりを通して、学生ともども学びを深めていきたいと願っております。そのスタートとして今回、充実した講義をして頂いたことをこころより感謝いたしております。

柏原栄子（大阪薫英女子短期大学 児童教育学科教授・学科長）

男女共同参画センターで中学生の社会貢献体験実習！

7月7日、摂津市立第四中学校2年生の男子4人が、社会貢献体験実習のため、当センターにやって来ました。午前中は、書籍や書類の整理などを体験しました。午後は、DVや自分たちの身の周りにある暴力について職員が話し、暴力の防止について考えました。そして自分たちの考えたことをどう表現するか、悩みながらも「暴力反対」のポスターを仕上げました。センターに掲示しています。

2日目は、人権女性政策課で人権について学び、市民文化ホールで開催予定の「平和パネル展」に展示する、平和に関するメッセージを作成しました。



平成23年度実施の男女共同参画市民企画協働事業

男女共同参画社会の実現をめざしている市民団体の企画をさまざまな形で応援します。

チャレンジ企画事業

市民グループがやってみたいこと、学んでみたいことを企画し実施するチャレンジ企画事業。
今年度は、下記の3企画が決定しました。

講座名	実施日	実施団体
男も女も介護予防は40代から健康づくりガンバルーン体操	9月8日、22日、10月13日(木)	NPO 法人 摂津市人材サポート・ビューロー
自分らしさの中から、新しい自分を知るきっかけ(仮)	11月15日(火)、29日(火)、 12月12日(月)	Torico`ll(トリコル)
人やまちが元気になるファシリテーター入門講座(仮)	1月31日、2月14日、28日(火)	ナチュラル&ポジティブ

ジャンプ企画事業

推進団体が、男女共同参画の視点でとらえた講座や女性のエンパワーメントに役立つ講座の企画・運営を実施します。

●今までに開催されたジャンプ企画事業

朗読発表会

宮沢賢治と小泉八雲の不思議な世界



朗読グループ・グッドムーン

親子で楽しむ

スイーツ作りとスクラップブック



ぴーすくらっぴー☆スクラップブック

ぼてとひろば～親子でほっこり～



NPO 法人 キッズぼてと

ふらっと企画事業

推進団体が主体となって日頃の学びや活動を広く市民に公開する事業を男女共同参画センター交流室で実施します。

●今までに開催されたふらっと企画事業

楽しく作ろう!

「想いが伝わる」とびだすカード



ほめたいね♡

親子でうちわをつくろう!!!



せつつ発見隊～この指とまれ～

★これから開催される事業

ジャンプ企画

10月22日(土)

「放射能から子どもたちを守るためにできること」

(新日本婦人の会摂津支部)

ふらっと企画

11月5日(土)～7日(月)

「絵手紙展」(画遊会)

編集・発行 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112 FAX：06-4860-7113

ホームページ：http://with-settsu.jp e-mail：danjyo@with-settsu.jp

